

菜種

なたね
農業委員会だより

編集と発行
北栄町農業委員会
北栄町由良宿423-1
TEL(0858)37-3135



ぜひ、感動のこの味を

文 井上 昌史さん

「優香」は、全国でも栽培農家が極めて少なく、市場で出回ることが稀なことから「幻のメロン」と称される希少な品種です。最大の特徴は、収穫直後から溢れ出す芳醇な香りと、スッキリとした上品な甘さ。皮が非常に薄いため、果肉のギリギリまで余すことなく美

味しく召し上がっていただけます。導入の経緯は、他のメロンと明確な差別化を図るためでした。栽培管理が非常に難しく、生産のハードルが高い品種ですが、私自身が初めて食べた際にその味に深く感動し、「どうしてもこの美味しさを届けたい」と挑戦を決意し、より

美味しいメロンを作るためにミツバチ交配にこだわりました。そしてようやく納得のいく品質に辿り着きました。今では購入者が年々増え、多くの方にリピートしていただいています。

収穫時期 6月下旬～7月上旬ごろ

農家相談日

4月28日(火)
5月26日(火)
6月23日(火)

【時間】
13時30分～15時
【場所】
北栄町役場
大栄庁舎2階

月	申請書(議案)メ切日
4月分	(受付終了)
5月分	4月24日(金)
6月分	5月25日(月)
7月分	6月25日(木)

電子申請をご活用ください

農業委員会への申請・届出(一部)等が、インターネット上で行えます。

農地を相続した

農地を貸したい
売りたい

農地を借りたい
買いたい

農地法関係
申請書案(等)
(売買、転用)

「菜種」への
投稿

その他
ご相談

とっとり電子申請サービス 北栄町 でネット検索

- 「北栄町」を選択
- 希望項目を選択し、入力フォームへ

ご不明な点は農業委員会事務局までお問い合わせください。



農家相談

毎月1回、農地などの困り事について農業委員が相談を受けています。毎月数件の相談があり、農業委員が相談に対応し、助言や問題への対応をおこなっています。ここで最近の相談事例を紹介します。

【相談事例】

体調不良や高齢の為、耕作を続けることが難しくなった。後継者もない為、農地を売買するか、次に耕作してもらえる人を探してほしい。

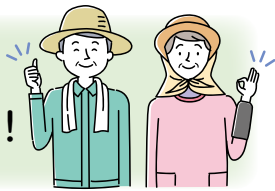
【助言対応】

空き農地情報バンクに登録後、担当地区の農業委員が声掛けをしました。借り手が見つからない事もありますが、今回は次の耕作者を紹介することができました。

農家相談では、上記以外にも相談等を受け付けています。日時、場所については、1ページ目をご確認ください。
(文 田中 寛)



悩んでいないで、
一度相談してみましょう！



農業委員からお願い

農地の所有者が亡くなった場合、お早めの相続登記をお願いします。相談は法務局まで。

●相談センター：0120-13-7832



1/14 鳥取県農業委員会女性協議会 第2回研修会

今回は「女性活躍」部門で最高位の
内閣総理大臣賞に輝いた福岡県みやま市農業委員会の徳永順子会長をお迎えし、耕作放棄地解消の取り組み事例を紹介いただきました。

- ①10年以上放置された40aの土地が、取り組みからわずか1年で、みごと水田に生まれ変わり、再生された農地は現在、農業法人へ貸し出され、有効活用されています。
- ②放棄地と優良農地が混在している山間地の基盤整備に取り組み、竹を土壌改良資材として活用できる流れ（仕組み）を確立されました。
「多くの問題を、地域の仲間の助けにより、乗り越

えられた」と感謝の言葉を口にされていました。何より徳永会長の行動力とパワーに心打たれました。最後にこんな言葉をいただきました。



“いつか誰かではなく、
今こそ私たちが行動
しなければ
いつまでたっても
誰もやらない
何も変わらないことを
認識しよう！”

(文 田村 美智恵)

地域おこし協力隊



～活動報告～

地域おこし協力隊は、町外から移住して3年間の任期の中で農業や産業振興に携わり、地域活性化を目指す制度です。北栄町では平成26年から受入れを行い、任期後に就農し担い手として活躍する卒業生も生まれています。



活動中のたなかかずおさん

北条ワインでの田中隊員の活動内容は、ぶどう栽培・ワインの仕込み・農業の情報発信です。Instagramでの情報発信のほか、旅行先でお手伝いをする「おてつたび」の受け入れを提案し、ぶどう収穫体験やラベル貼り、ワインの仕込みなどをお手伝いしてもらいました。

また商品の売り上げの一部をウクライナの支援金に充てる取り組みや、パウチ型ワインの新商品を提案し、パッケージデザイン等にも取り込まれました。

田中隊員は今期3年間の活動を終え、今は東園でアグリスタート研修を始め、生食用ブドウでの新規就農を目指されます。みなさんで応援していきたいですね。

(文 田村 美智恵)

イイね にな **担い手**

頑張る期待の担い手を紹介します。



いちごのハウスにて

目指すはいちごのカリスマ

橋本 裕國さん (弓原・32歳)

農業大学校を経て2年間JAに勤務していましたが再度、東京の農業大学校へ入学されました。その在学中の研修で訪れた熊本県の若手いちご農家さんの経営や考え方に触れたことがきっかけで、いちご農家となることを決意したそうです。卒業後も同農家さんの下で3年ほど修行し、その後北栄町の地域おこし協力隊としてドリーム農場で1年半の研修を経て、新規就農者とし

て今年で4年目になりました。

現在、ハウス3棟(20a)のいちごをほとんど1人で栽培されています。今後は人を雇い効率よく作業を行い、将来的には「いちご狩りを開きたい」とおっしゃっていました。「成功モデルとなり、北栄町にもいちごあるぞ!とアピールしたい」と強く意気込んでおられました。

(取材 文 濱本 喜一郎)



12/12 青年農業者研修会を開催

今年はある農業雑誌の編集部に寄せられた全国の百姓からの便りを基に制作された映画「百姓の百の声」を観ました。災害に遭っても復活を目指す高齢の百姓。微生物や天敵利用の百姓。農業政策に翻弄されながらも営農を確立した百姓。地域に根ざした品種を大切にしている百姓。その中でも一番心に残ったのは、台風で全壊したハウスを再建した90歳男性の言葉「①百姓は道楽とすること(結果がよくても悪くても自己責任) ②記録は必ず残すこと ③常に新しい技術に取り組むこと」いろいろな思い、工夫、チャレンジ精神を知ること、自分自身ももっとやってみようという気持ちになりました。さあ、みんなでがんばりましょう!

※「百姓」という言葉は現代にはそぐわないかもしれませんが、制作者の思いで使われています。それに基づき文中で使用しました。

(文責 秋山 英正)



12/5 町内視察研修を実施

町内全体の生産品目と農地の状況の確認を目的として、バスで町内の農地を回り、各地区の担当委員から説明を受けました。



共通課題として、水田では農地の区画が小さいところは、大型化の進む機械の効率的な活用ができないこと。畑地では、高齢化や担い手不足により遊休農地が増えていることと近年の猛暑で農作物の栽培管理が難しくなっていることが挙げられました。

こうした問題の打開策として、水田では、農地の集約・集積による作業効率化を進める必要があると感じました。畑地では、担い手の確保・育成に加え、特に砂丘地において、灌漑施設の更新を行い、安定的な農作物の生産ができる基盤整備が必要と考えます。

(文 石井 通人)



1/29 交流給食会を実施

今回の交流給食会は、小学生に農業と農業委員に感心を持ってもらうために大栄小学校で開催しました。



私は給食に脱脂粉乳が出ていた世代ですが、久しぶりに食べた給食は、とてもおいしかったです。

初めての試みということもあり、児童から農業に関する質問はあまり出なかったのですが、これは大栄地区では農業が身近な景色であり、生活の一部になっている証拠でもあると感じました。

今後もこのような交流を継続し、農業委員会の活動をより身近にアピールしていく必要があると考えています。

(文 長谷川 康弘)

農産物プレゼントクイズ

(3名様)

幻のメロン



クイズ

幻のメロンの名前は？

答え 「○○」

(ヒントは1ページをご覧ください)

○に入るクイズの答えと住所・氏名・年齢・電話番号・「菜種」へのご意見、ご感想を書いて、郵送、応募箱、応募フォーム(右下QRコード読み取り可能)で応募してください

応募資格：町内在住の方で1世帯につき1通。
令和8年7月7日(火)～8日(水)
8:30～17:15までに役場 農業委員会へ取りこれる方

・応募箱は、北栄町図書館本館・北条分室に置いています。
・当選者には郵送にてご連絡します。

応募期限：令和8年4月30日(木)(当日消印有効)
郵送先：〒689-2292 東伯郡北栄町由良宿 423-1
農業委員会事務局「農業委員会クイズ係」

前回の正解は **う た う 農 家** でした

空き農地情報バンク

空き農地情報バンクに登録されている売買・賃借したい農地の情報です。

《買いたい・借りたい方を探しています》

No	農地の所在	地目	面積(a)
1	江北中馬場谷3974 (賃借・売買)	畑	8
2	曲東谷999 (賃借・売買)	畑	10
3	西園外ヶ浜1506 (売買)	畑	11
4	亀谷石橋180-3 (賃借・売買)	田	21
5	由良宿久米屋開1442-1 (賃借・売買)	畑	7
6	妻波東内浜1986 (賃借・売買)	畑	9

空き農地情報バンクの情報をスマホから見られます

掲載に承諾いただいた農地をインターネットに公開しています。詳細は町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

【掲載場所】

●町ホームページ ●eMAFF農地ナビ



私も加入しています



かわちとみか 河本美香さん (大谷・59歳)

掛けたら、収入を得る手段もなくなり、少しく収入がなければという思いで農業者年金に加入しました。掛け始めの時期が遅かったため、現在は最高額を掛けています。農業者年金を掛けることによって老後に向けての安心と考え、今不安なく過ごしています。若い方や女性の方は1年でも早く入り、掛金を少しでも長い期間積立てることによって運用益もあり安心できると思います。

詳しくはお近くの農業委員または農業委員会 ☎37-13135 まで (取材：文 河本 松秀)

農業者年金は早く入った方が安心です

主人と二人で西瓜栽培農家を営んでいます。夫は厚生年金と国民年金の両方が出ています。私には国民年金だけしかなく、夫が亡くなった場合、多分農業

全国農業新聞

パソコン・タブレット・スマホでいつでもどこでも新聞が読める

電子版を配信中!!

- 2023年以降のバックナンバーがいつでも楽しめます



見やすい

分かりやすい

●黄色線内をクリックまたはタップすると記事や広告の動画コンテンツやホームページなどにリンクします

▼お申し込み



- 毎週金曜日・午前0時配信
- 購読料 月700円 (クレジットカード払いのみ)
- 農業の最新情報をわかりやすく解説
- 家族全員が楽しめる記事も掲載

新任委員を紹介します



やまね しゅんいち 山根 俊一 (曲)

令和8年3月1日付けで、農地利用最適化推進委員に就任しました。担当区域は松神・曲です。

編集後記

毎号の編集会議は①テーマ決め②取材・原稿作成③印刷して都度、点検(4回～6回位)④最終確認⑤決定とありますが、皆さん時間のない中、各自の出席できる時に出席してすすめていきます。会議は一言一句、皆さん侃々諤々添削していく姿を見て、完成版を改めて読むと私事ながらオーッと

思います。

また、自分が書いている「まっつあんのひとり言」は農業について、さまざまな視点で書いてきました。幅広い年代の方から感想をいただき、多くの皆様に読んでいただいているんだなあと感じています。多くのご感想、ご意見ありがとうございます。(文 河本 松秀)

広報委員/田村 美智恵・森本 壮一・石井 通人・濱本 喜一郎・吉田 美由紀・田中 覚・阪本 知則・河本 松秀